

# 9月の行事予定

- 17日(金) 誕生会
- 27日(月) 避難訓練
- 30日(木) 運動会予行

# 10月の行事予定

- 9日(土) 運動会
- 15日(金) 健脚活動③/内科検診
- 18日(月) 入園見学会
- 19日(火)～25日(月) 個別懇談
- 21日(木) 歯科検診
- 26日(火) 避難訓練
- 28日(木) 誕生会

## 毎月の行事～避難訓練～



毎月、月に一度避難訓練をしています。火事が起きた時や地震が起きた時などさまざまな状況を想定して行っています。あつてはならないことですが、実際に起きた時にどのように行動するのかを職員もシミュレーションをして考えて、こどもたちにも伝えています。いつどんな緊急なことが起きても職員同士が連携を取って対応できるようにしています。



## BOX ティッシュのご協力をお願いします

BOX ティッシュをこども一人につき一箱(袋)ご協力ください。朝の検診場所に、回収用のカゴを用意しておきますので、入れてください。



## 丘の上知恵袋

- Q.トイレに行くことを怖がります。どうしたらいいですか？
- Q.トイレに座ってもなかなか出ません。いつ頃からトイレで出来るようになりますか？

A. トイレ問題はデリケートなことなので無理に誘わず、気分が乗った時やお風呂の前など生活の節目に誘ってみてはどうでしょうか？また、楽しい音が鳴るトイレグッズを使ったり、抱っこやおんぶでトイレに行ったりして楽しく工夫するのも良いと思います。

A.おしっこは「出ちゃう」という感覚から「出す」へ。「おしっこがしたい」という感覚は、「膀胱におしっこがたまった」という情報が神経を通して大脳皮質に届いて初めて感じられます。成長とともに段々と大脳皮質も成熟し、溜まったおしっこを感知し『尿意』として感じられるようになっていきます。

**乳幼児期:**「尿意」が感じとれず、反射的におしっこをします。

**1歳から1歳半ごろ:**おしっこの溜まる感じがわかってきます。

**1歳半ごろから2歳ごろ:**膀胱も大きくなっておしっこを溜められるようになってきます

ポイントは「叱らない」「あせらない」「比べない」。

おしっこが出ないときは、2分から3分で切り上げましょう。そして、座れたことをほめましょう。嫌がるときは、無理強いしないことが大切です。「今はイヤなのね」「また後でしょうね」と声かけをしましょう。

園だより NO. 433号

# くまのこだより

令和3(2021)年9月1日(水)発行  
さくらが丘保育園



社会福祉法人 岡山こども協会

## 『興味関心を奪わないように』

園庭で遊んでいると一人の子が「セミがおる！」と木の上の方を指差していました。すると、周りのこどもたちも「ほんとじゃ！」と興奮気味で木を見上げていました。すぐに「先生セミ！」「とって！」と私に声がかかりました。ですが、私はセミが苦手です。さらに、この時は届かないところにいたため、捕まえることは断念しました。こどもたちはとても残念そうに「え～とって～」と訴えかけていました。そこで私は「届くところに来たらとってあげる」と返事をしました。セミが苦手な私は、少し心の中で“届くところに来ないかもしれないな”と思いながら、その場を離れました。数分後、「届くところにセミおる！」と声がかかりました。本当かなと思いついて行ってみると、あみを伸ばせば届くところにセミがとまっていた。ゆっくりあみを近づけ、見事に捕獲。すぐにこどもたちが寄ってきて虫かごに移します。捕まえたセミを「見て、セミ！」と他の子に見せたり、違う保育者に見せたりととても嬉しそうな顔をしていて、私も嬉しくなりました。

もし捕まえず、こどもたちが笑顔を見せなかったら、こどもたちが興味をもっていたセミに触れる機会を、自分の“セミが苦手”という事情で奪っていたと思います。この時は、私が少し勇気をだして捕まえ、こどもたちがセミをかごに入れ、私はセミに触らないように対応したことで、こどもたちの笑顔が見られました。これからこどもたちと過ごしていく中で、少し考え、自分の事情でこどもたちの興味や関心のあることに触れる機会を奪わないように心がけたいと思います。

佐藤 麻美



住所 赤磐市桜が丘東 6-6-704  
電話 (086)995-0104  
IP 電話 050-3494-4820  
FAX (086)995-0164



## はなぐみ

“ごあいさつ”という絵本を大人が読んでいた時のこと。職員が「こんにちは。ぺこっ」とお辞儀をすると、同じように“ぺこっ”と頭を下げて真似をする姿がありました。絵本だけでなく、日頃からよく大人の真似をするようになっていきます。

まねっちは学びです。大人の真似から、生活習慣を学習しています。そう思うと、手本となるような、身のぶりをしなくては…と心が引き締まりますね。

## つきぐみ

朝の集まりで今日することを伝えると、喜びを身体で表現し始め、全員でジャンプ大会の開始です。しかし、ジャンプは止まらず、收拾がつかなくなってしまいました。それならと思い、保育者がリズムのうさぎを歌い始めると、うたに合わせてジャンプします。うたが終わると満足して自分のマークに座ることができました。

“うれしい”“楽しい”と感じていることを、クラスの人と一緒に身体で表現して、共感しあう。なんとも微笑ましい光景です。みんなのリズムがそろうことで喜びも満たします。



## ゆきぐみ



# こーいね

## にじぐみ

## そらぐみ

気がつくと、ままごとのジュースを、パーティーの網目にはめていました。しかも、一本ではなく、ジュース全てがはまっていました。“パーティーが傷みそう”と思いましたが、こどもたちの発想に面白いと感じました。

注意はしていないので、ゆき組では今でも、度々この光景を目にします。

大人が思いもよらないことや大人が少し困ったな…と思う姿をこどもたちは、たびたび見せます。でもそれは、それをどのように使ったら楽しくなるか考える力がついたという、成長の証なのです。



A児が部屋であそんでいる時にBブロックであそんでいました。自分で考えながらBブロックを繋げて家のようなものを作っていました。集中して作ってあそんでいる姿に感心しました。

集中する力は、まず自分の好きなことをすることについてきます。集中できる、時間と環境を作る手だてを心掛けたいと思います。

午睡明けのことです。「起きる時間だよ」と声をかけるとすぐに起きて布団の角と角をキレイに畳んで持ってくる事ができました。自分のことは自分でするという姿にさすが年長さんだと思いました。

一つ一つを丁寧に。時間はかかるかもしれないけれど、積み重ねた“きめ細やかさ”が、こどもたちの力になっています。



## ほしぐみ

おいしい食べ物がたくさん出てくる『あっちゃんあがつく』という絵本を見ていた時のこと。ページをめくるたびに「どれがいい？」と聞いてくれるので「これがいいな」と一緒に選びながら見ていました。同じものを選んだ時には「半分して食べよう」という言葉が自然と出てきてお腹ではなく、心がいっぱいになりました。

実際におきているかのように想像を膨らませて、空想の世界であそびが広がっていく。想像力がついてくると、人の気持ちを汲み取る、足掛かりにもなりますね。

